

## エゾシカ有効活用推進連絡対策協議会

会長 鎌田 公浩（(社)エゾシカ協会顧問、前北海道議会議員）

副会長 石子 彭培（NPO法人北海道振興機構理事長）

副会長 近藤 誠司（(社)エゾシカ協会会長、北海道大学教授）

### ○設立趣旨

北海道では、エゾシカの個体数調整のため有効活用を推進しており、捕獲から流通までの一環したシステムを構築するために様々な事業を展開しています。

平成 18 年度には、有効活用の基本的な考え方を「エゾシカ有効活用のガイドライン」としてまとめたところですが、未解決の課題が多いのも現状です。

今後、より一層有効活用の推進を図るためには、自然資源としての価値を高めることが重要であり、このことは、地域振興や観光振興はもとより、北海道経済活性化に結びついていくものでもあります。

そのためには、関係機関や団体が課題解決に向けて共通認識を深め、具体的な手法を展開していく必要があることから、「エゾシカ有効活用推進連絡対策協議会」以下「エゾシカ連対協」という。）を設置しました。

### ○活動内容

平成 19 年 6 月 4 日設立準備会、7 月 10 日設立会議 6 回開催

平成 20 年 1 月 17 日～12 月 2 日 10 回開催

エゾシカ有効活用等中国東北部調査（5 月 31 日～6 月 7 日）

団長 鎌田公浩 副団長 石子 彭培

企画主催：エゾシカ有効活用推進連絡対策協議会・(社)エゾシカ協会

視察先等指導：東京農業大学 増子義孝教授

北海道参加担当部署：自然環境課、医務薬務課、産業振興課、十勝支庁林務課、新得畜産試験場

第 12 回協議会（7 月 23 日）中国調査報告

平成 21 年 1 月 26 日、3 月 2 日、4 月 16 日 3 回開催

知事要望書提出（2 月 10 日） 鎌田公浩会長、近藤誠司副会長、井田宏之事務局長

### ○要望事項

1. エゾシカ肉の安全・安心の確保と捕獲対策
2. エゾシカ有効活用フォーラム等の開催
3. 総合活用対策